

# 「平成 20 年度 ふるさと “やまがた” 寄付金」 の活用について（ご報告）

## 1 平成 20 年度の寄付件数・金額

全国各地の皆様から、**55 件、304 万 4 千円** のご寄付をいただきました。  
皆様の「山形を応援したい」という温かい想いに、改めて感謝申し上げます。

## 2 活用を希望する「山形県の取り組み」への申し込み結果

平成 20 年度は、4つの分野（「その他」（4分野のいずれでも可）を除く）の「山形県の取り組み」に対して、皆様から申し込みをいただきました。活用を希望する「山形県の取り組み」への申し込みの結果は、以下のとおりです。

なお、「その他」に申し込まれた方の分は、4分野に等しく分けさせていただきました。

	山形県の取り組み	件数	金額
1	“やまがた”の美しい自然、景観の保全・継承（環境）	37	84万1千円
2	“やまがた”の文化の保存・伝承・発信（文化）	32	85万2千円
3	子どもがすくすく育つ“やまがた”づくり（教育・子育て）	30	86万1千円
4	助け合いによる持続可能なふるさと“やまがた”づくり（地域）	23	49万円

※ 複数選択も可能なため、表の件数の合計と寄付件数の55件とは一致しません。

## 3 具体的な取り組みへの活用状況

寄付金は4つの分野において、具体的には以下の取り組みに活用させていただきました。

### （1）“やまがた”の美しい自然、景観の保全・継承（環境）

住民や企業との協働により、県内各地の美しい川や海岸を守るため、美化清掃や環境保全の啓発などを行うボランティア団体や企業に対して支援を行いました。

**活用額 45万9千円**



山形県の母なる川「最上川」と「川の文化」を未来の子どもたちに伝えていくため、シンポジウムの開催、出前講座などを実施し、ふるさとや地域への誇りと自信を高める取り組みを行いました。

**活用額 38万2千円**

## (2) “やまがた”の文化の保存・伝承・発信（文化）

山形県の文化の向上を図るため、県内の文化を支える美術館・博物館などの事業、県内外に本県の魅力を伝える山形交響楽団などの事業に対して支援を行いました。

**活用額 77万8千円**



将来を担う子どもたちの「ふるさと山形」に対する愛着と誇りを育むため、県内の文化や伝統芸能などの伝承活動や記録・保存を通して地域を元気にしていくことを目指した事業に対して支援を行いました。 **活用額 7万4千円**

## (3) 子どもがすくすく育つ“やまがた”づくり（教育・子育て）

食を通じて、子どもの健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、食育の普及啓発や農業・食べ物の大切さを感じるための農作業体験などに対して支援を行いました。

**活用額 58万5千円**



企業・店舗の協力を得て、妊婦又は就学前の子どもがいる世帯に「やまがた子育て応援パスポート」を発行して、商品の割引やサービス等の提供が受けられる取り組みに活用しました。 **活用額 27万6千円**

## (4) 助け合いによる持続可能なふるさと“やまがた”づくり（地域）

青少年の社会参画を通して、自立性・自主性を育むため、青少年の企画立案・実行による“山形県を元気にする”取り組みに対して支援を行いました。 **活用額 33万6千円**

取り組み例：高校生が、地震・津波被災児への支援を通して得た海外との交流を、地域の人たちに広げていくための外国語・文化講座を実施しました。



ボランティアを中心とした青少年による地域での様々な活動を支援するため、地域貢献活動情報センターを設置し、YYボランティアセミナー等を開催しました。

YYボランティアとは、「山形ヤング（Yamagata Young）ボランティア」の意味で、中学生・高校生を中心に学校の枠を超えて地域で行っているボランティア活動のことです。

**活用額 15万4千円**